

◆ 被覆アーク溶接実習 1班 11～15日、2班 4～8日

被覆アーク溶接実習は、保護具の正しい着用方法、溶接機の使用前点検方法を学んでから実技訓練を行います。実技訓練はビード置きの練習から始まり、突合せ、角、重ね、隅肉の溶接方法を繰り返し練習します。



溶接してから毎回、溶接結果を確認して次の溶接が上手く出来るようにアドバイスをを受け、振り返ります。



■ S・Kさん
高校の時は、穴があいたり上手く出来なかったので溶接棒の角度やプールの大きさ、アーク長を意識して作業しました。うまく出来た時はとても嬉しかったです。



◆ 機械要素実習 1班 25～29日

機械要素実習では、「スピンドルボックス」と呼ばれる工作機械の主軸を模した装置の分解・組み付け・調整をおこないます。正しい工具の使い方、要素部品の構造や役割を学びながら、主軸ベアリングの予圧調整をしていきます。タイミングベルトやチェーンのテンションなど調整に関する感覚も実習します。



■ K・Iさん
実際に現場で仕事をすることを想定し、工具や部品を落とさない様に意識して作業しました。これから必要となる知識や技能を楽しく学ぶことが出来ました。

◆ 事技職、新入社員研修(11名) 6月6日～8月4日

今年度は11名がものづくり基本技能実習を8週間にわたり、行っています。研修期間中は毎日、朝礼・昼礼に参加して士気を高め、1分間スピーチにもチャレンジしています。



◆ PLC基礎実習 2班 18～22日

PLC基礎実習では、パソコンを使用してプログラミングの方法などを学び、押釦の操作でランプ表示を制御する回路設計をします。エアシリンダ等のアクチュエータの動作制御、モータの正転逆転制御など、より工場の設備に近い制御回路を学びます。



■ Y・Sさん
工場の設備のような複雑な制御回路になると少し苦手と感じたので繰り返し練習して自分のものにしたいです。



PLCを使用しての初めてのプログラミング実習に皆真剣に取り組んでいます。

◆ クラブ活動 (全豊田訓練生総合競技大会に向けて)

全豊田訓練生総合競技大会は今年度で60回を迎える歴史ある大会であり、トヨタグループ内の企業内訓練校 11校が集結し「文化」「体育」の2部門で競い合う大会です。リーダーを中心に練習メニューを考え、活動しています。



バスケットボール

バスケットボールと陸上競技では100m,800m,5000m,砲丸投げにエントリーします。



100m 800m 5000m

陸上競技

砲丸投げ

◆ 10日(日) 第3戦 SUGO スーパー耐久3時間 レース観戦

レクサスRC、スープラなど日本が誇るスポーツモデルが戦うスーパー耐久の魅力を感じたり、水素エンジン車をはじめ、バイオディーゼル燃料車など未来のモビリティを感じさせる車両が参戦していることに驚きました。『もっとクルマが好きになる』良いきっかけになりました。



スタンド観戦席にて宮内さんと記念撮影。

迫力満点の走行に感動しました。